

理事からのメッセージ

TTC創立40周年を迎えて
～標準化活動が拓く持続可能な社会～

理事

高木 康志(富士通株式会社 SVPネットワーク&データセンタービジネスグループ エグゼクティブディレクター)



一般社団法人 情報通信技術委員会（TTC）創立40周年、誠におめでとうございます。長きにわたり、情報通信分野の標準化を牽引し、社会の発展に貢献されてきたTTCに、心より敬意を表しますとともに、TTCの一員として富士通も標準化活動に関わることができましたことを誇りに思います。

TTCは、情報通信技術の進展を支え、業界横断的な取組みや標準化人材の育成を含め、極めて重要な役割を果たしています。技術革新のスピードは目覚ましく、標準化においても、デジュール/フォーラムにおける技術標準の策定のみならず、社会課題解決/新たな市場開拓等を目指した分野横断的な議論の場としての活用もなされ、標準化の重要性はますます高まっていると同時に複雑さも増しています。TTCが、業界全体の意見を集約し、国際標準化活動を推進するプラットフォームとして、更なる発展を遂げることを期待しています。

TTCにおける最近の富士通の活動に言及しますと、IOWN Global Forumが描くIOWN構想の実現と普及に向け、富士通はIOWN GF専門委員会を通じてITU-Tへの国際標準提案活動に貢献しています。光を中心とした革新的技術の活用により、情報通信処理基盤の低消費電力、低遅延、大容量・高品質の実現を目指すIOWNに関する標準化活動を通じて、革新的な技術を世界に広げ、次世代の社会づくりに貢献していきたいと考えています。

また、富士通は、3GPP専門委員会を通じて、3GPPの標準化に関する情報共有と意見交換、3GPPで策定された技術仕様を国内標準（TTC標準）として制定する活動にも積極的に取り組んでいます。5Gから将来のBeyond 5G/6Gへとモバイル通信技術の進化を支える標準化活動を通じて、より高速、大容量、低遅延なモバイル通信技術の実現に貢献するとともに、新たなユースケースの創出も支援しています。一方、無線アクセスネットワークのオープン化、マルチベンダー化はまだ普及の途上にあります。標準化を通じて、異なるベンダーの機器間の相互接続性を確保することは、Beyond 5G時代においても重要な取り組みです。また、これらの機器を迅速かつ効率的に利用できるよう、仮想化技術を促進することも重要です。Beyond 5G時代の高度なネットワーク構築を実現していくことも、富士通の役割であると考えています。

富士通は、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」をパーパスに掲げています。社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくために、標準化が果たすべき役割は重要です。富士通は、パーパスの実現のためにも、今後もTTCと連携し、情報通信分野を中心とする標準化活動を通じて、持続可能な社会づくりに貢献していく所存です。